

記 事

例会記録

日本医史学会・日本薬史学会・日本獣医史学会・
日本歯科医史学会・日本看護歴史学会 合同12月
例会 平成24年12月8日(土)
順天堂大学医学部センチュリータワー16階北フロア

1. MRの歴史

——日本最初のプロパー誕生から百年——

西川 隆

2. 口蹄疫の歴史

——その流行と防疫の変遷、現在の課題——

杉浦勝明

3. 伊澤信平と歯科医術

——ハーバード大学に留学した蘭軒の孫——

樋口輝雄

4. 第二次世界大戦におけるビルマの兵站病院と
日本赤十字社救護班 川原由佳里
5. 江戸時代の労瘵(結核)
～病にみるジェンダー～ 鈴木則子

日本医史学会1月例会 平成25年1月26日(土)
順天堂大学医学部センチュリータワー16階北フロア

1. 『源氏物語絵巻』と『平治物語絵巻』にみる口
腔観の比較考察 西巻明彦
2. 日本における精神科医療・医学史研究の歩み
(その1) ——戦前 岡田靖雄

例会抄録

中島友玄の京遊備忘 其の二

——京遊厨費録より見た遊学生活——

中島 洋一

中島友玄は中島宗仙の長男として文化4年に生まれた。幼名八百吉後金吾、天保元年鴨方藩医武井養貞に譜代弟子願いをして医学を学び、天保4年京都に遊学、吉益北州、清水大学、小石元瑞、藤林泰佑、緒方順節、高階清介に学ぶ。京遊備忘は友玄が天保4年京都に医学を修学のため上京した際の日記で、京遊厨費録は其のときの会計簿である。

日記は天保4年1月26日日より9月5日までで厨費録はその間の会計簿である。友玄が厨費録と京遊備忘を入れて持ち帰った袋には天保4年1月26日出発、12月19日に帰郷したと記されている。

厨費録は道中諸雑費より始まる。7日間の宿料は平均340文となる。

江戸時代の通貨は金、銀、銅の三貨平立しており、金一両は4分、一分は4朱である。銀貨は秤料通貨で銀の重さにより流通した。一貫匁=1000匁、1匁は10分、1匁は3.75g。

友玄は支払った貨幣により分けて記載しており宿料は銀貨で記載し、師家への束脩は金貨で記載している。これは当時の習慣的なものである。天保4年の京都における通貨を計算すると、金1朱は約420文にあたり、銀1匁は92文となる。これから計算すれば金一両は6784文となる。